

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	4-2	雨水整備の方針
--------------	-----	---------

基本施策	7	施設の耐震化
------	---	--------

基本施策目標
阪神淡路大震災や東日本大震災などの大規模な地震に耐えられるレベルまで強化を図り、下水道の役割を確保します。

課題名	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 施設の耐震化	<p>〔概要〕 大規模地震に耐えられるレベルまで長寿命化と併せ施設の耐震化を図る。</p> <p>〔目標〕 汚水施設と同様に、重要な幹線管路や雨水ポンプ場を対象に耐震対策を進める。</p>	重要な幹線管路である利根川雨水支線、内野雨水支線、久保川雨水支線の耐震化を図った。また、雨水ポンプ場の耐震化は長寿命化計画に含め、基礎資料の整理を行い耐震対策を進めた。	A

基本施策 総合評価	A
-----------	---

<p>評価結果の説明等</p> <p>重要な幹線管路である利根川雨水支線、内野雨水支線、久保川雨水支線は、整備事業に合わせて新耐震基準に基づき耐震化を図った。また、雨水ポンプ場の耐震化は長寿命化計画に含め、基礎資料の整理を行い耐震対策を進めたことから評価をAとした。</p>

<p>今後の取り組みの方向性・展開方針</p> <p>重要な幹線管路の耐震化は、汚水施設と同様に平成13年度以降の施設については、新耐震基準に基づき耐震対策を図り整備を進めている。それ以前の施設については、改修や補修時に耐震化に取り組む。雨水ポンプ場については、「基本施策6. 施設の適切な維持・更新」で、現在、策定中の長寿命化計画に含め耐震化の整備を進める。</p>
--